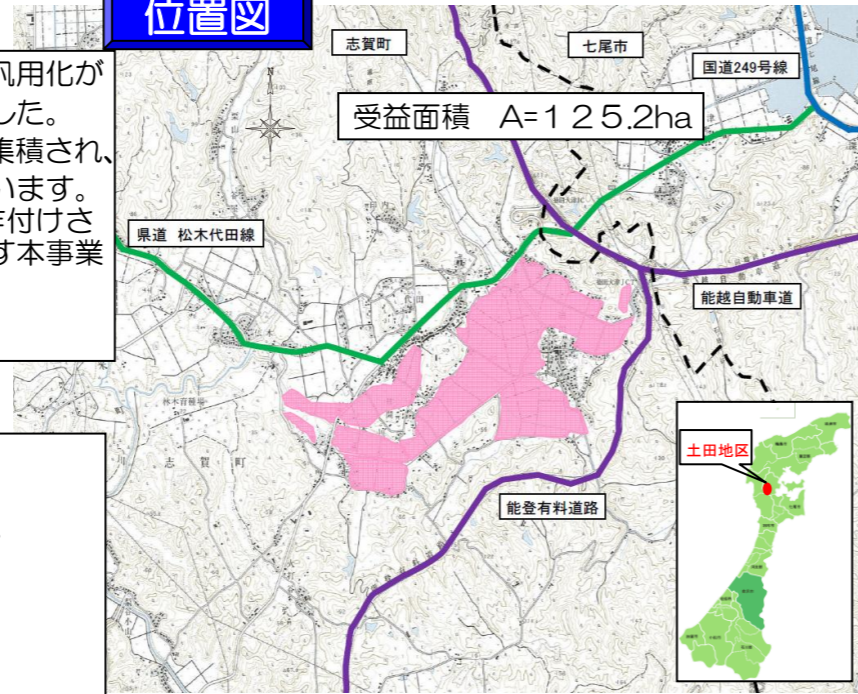


# 県営ほ場整備事業 土田地区

## 評価結果

ほ場整備事業の実施により、農地の大型化及び汎用化が図られ、労働時間の短縮や農地利用率が向上しました。  
 2法人、1組織、1個人が担い手となり農地が集積され、低コスト農業を目指す本事業の効果が発現されています。  
 また、事業後、麦、そば等の土地利用型作物が作付けされ土地利用も増加し、農業経営の安定化を目指す本事業の効果が発現されています。

## 位置図



## 地区概要

- 箇所名：石川県羽咋郡志賀町徳田、館開、仏木、牧山地区内
- 工事内容：区画整理 A=125.2ha
- 総事業費：2,164百万円
- 受益面積：125.2ha

## 整備前

平成5年当時



- ほ場区画：8a
- ほ場枚数：約1570枚

- 区画が小さく大型機械が入れないので、規模拡大ができない。（土田地区：8a区画）
- 耕作地が分散し、作業効率が悪い。
- 水はけが悪く、畑作できない。
- 貸したくても借り手がつかない。

## 整備後

平成18年



- ほ場区画：30a、1ha
- ほ場枚数：約270枚

- 大区画等の整備により、大型機械が導入でき、規模拡大が可能となった。
- 耕作地がまとまり作業効率が向上した。
- ほ場の乾田化により、汎用化が可能となった。
- 事業を契機に農地の集積がしやすくなった。

## 整備後の営農状況

事業実施により、生産性の高いほ場が造成され、農作業の効率が向上しました。また、地域の担い手（2法人、1組織、1個人）に農地が集積されました。



V溝直播による播種作業



ラジコンヘリによる一斉防除

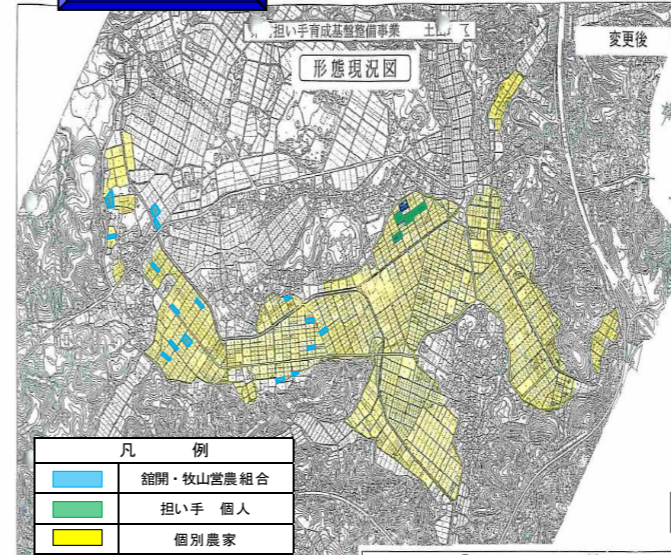


麦収穫作業

## 図で見る事業効果

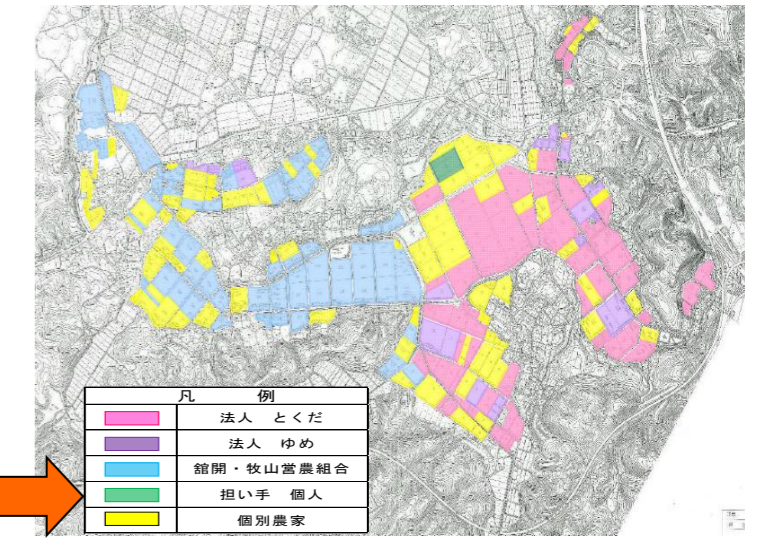
## 農地集積図

### 整備前



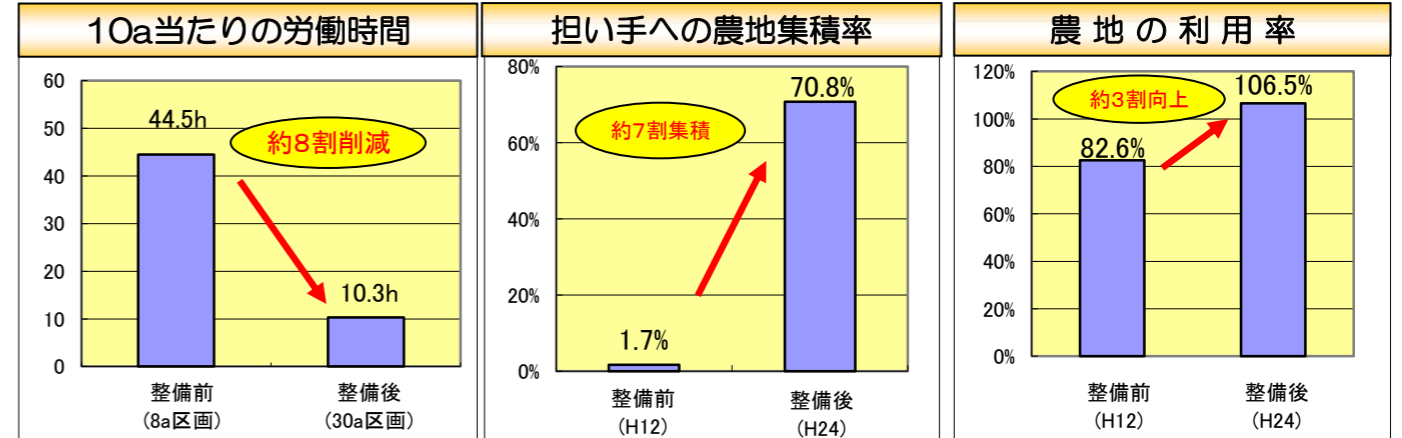
- 1組合、1名の規模拡大志向農家が2.3haの農地を個別に営農（地区全体の1.7%）
- 耕作地が分散しており、作業効率が悪い

### 整備後



- 2法人、1組織、1個人に91.5haの農地が集積され、効率的な農作業が実現（地区全体の70.8%を担い手が営農）
- 耕作地がまとめられ、作業効率が向上

## 数字で見る事業効果



## 地元の声

- 水管理が容易となり、大型機械が使えるので良かった。
- 担い手に耕作をお願いできたこと。
- 農作業時間が減少し余暇の時間（旅行、畑作業）が増えた。
- 町道の拡幅ができて良かった。
- コハクチョウが200羽以上飛来するようになった。

## 今後の取組み

事業を契機に2法人が設立し、併せて1組織、1個人が地域の担い手として農地が集積され、機械の大型化による営農コストの低減などが図られています。この地域では今後、新規就農者や定年帰農者が営農組合に参加しやすい体制づくりを進めることにより、持続的な地域農業を目指すこととしています。

## アンケート調査結果

配布：286世帯 回収：117世帯(41%)

ほ場整備の実施は、地域として良かったと思えますか

